

# きらっとあさひプラン

第4期 旭区地域福祉保健計画（原案） 令和3年度～7年度

## ○ 身近な地域での見守り・支え合い

現代の地域社会は、少子高齢化などによる家族形態の変化や、就労・子育てなどのライフスタイルの変化とともに、隣近所との関係性の希薄化が進んでいます。加えて、中高年の子どもの生活を高齢の親が支える「8050問題」や介護と医療を同時に抱える「ダブルケア」など、様々な社会問題も顕在化しています。

このような中でも、日頃から声をかけ合い、さりげなく気づかうことで、誰もが孤立せず、困ったときに相談したり、支援につなげたりできる関係＝「見守り・支え合い」が大切です。それは『きらっとあさひプラン』で目指す姿でもあります。

## ○ きらっとあさひプラン（旭区地域福祉保健計画）とは

旭区に住むすべての方が地域で支え合い、安心して自分らしく暮らせるようにするための計画です。住民・事業者・公的機関（区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が協働し、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進め、地域の福祉保健課題を解決するために策定・推進しています。

第4期計画では、新たな『基本理念』を掲げ、目指すまちの姿を設定し、「区全域計画」と19地区の「地区別計画」で基本的な考え方を共有しています。

## きらっとあさひプラン（第4期旭区地域福祉保健計画 素案） 令和3～7年度

### 基本理念

地域で支え合い 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

### 目指す姿

- 1 誰もが、ともに生きるまち
- 2 みんなが、声をかけあえるまち
- 3 ひとりひとりが、自分らしくいられるまち



### 区全域計画

- 区全体の共通課題、基本理念や基本目標を実現するための取組
- 地区だけでは解決することが難しいことを支援するための取組

### 地区別計画

- 19地区の連合町内会エリアで策定・推進する計画
- 目指すべきまちの姿や地区の様々な課題に対し、地区の皆さんが主体的に進める取組

## みなさんの活動は「きらっとあさひプラン」のどの目指す姿にあてはまりますか？

旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」は旭区に住むすべての人のための計画です。身近な地域でのちょっとした助け合いや支え合い、つながりづくりなど、支え合いの仕組みづくりを推進します。

皆さんの活動は、下の表のどの目指す姿と重なりますか？

チェックしてみてください。

1つだけではなく、複数の目指す姿と重なることもあると思います。

チェック欄			
	目指す姿1	誰もが、ともに生きるまち	地域には子ども、障害者、高齢者、外国籍の方、生活に困りごとを抱える方等、多様な人が生活しています。立場や背景の異なる様々な人が接点を持ち、互いの違いを知り、受けとめ合えるまちを目指します。
	目指す姿2	みんなが、声をかけあえるまち	より身近な地域や場面で交流を持ち、互いを気にかけて見守り合い、困ったときには声を上げ、支え合えるまちを目指します。
	目指す姿3	ひとりひとりが、自分らしくいられるまち	それぞれの存在を尊重し、できることや得意なことなどで参加しながら、いきいきと暮らせるまちを目指します。

※どんなところが目指す姿と重なるのか、みなさんの活動をイメージして考えてみてください。